



14  
3157  
25(2上)







衣類下

衣類

○十二ヒトハ単ヒトハ○十二ヒトハのオニツ衣オニツ○又ヒトハツ衣ヒトハ上ヒトハ日ヒトハ

かキヌ夜キヌ○表ウヘノ袴ハカマ○上ウヘノ衣キヌ  
多タビひヒそソめメ  
くクまマのノろロ

もモえエきキ さサくク 袴ハカマ○北カウ日キヌ子ヌ  
かカのノちチすス

袴ハカマのノ袴ハカマをヲのノ新ニウ 袴ハカマ○袴ハカマ日ヒ子コ 袴ハカマをヲひヒてテはハとト

とトのノ袴ハカマをヲひヒてテはハとト 袴ハカマ○袴ハカマ日ヒ子コ 袴ハカマをヲひヒてテはハとト

とトのノ袴ハカマをヲひヒてテはハとト 袴ハカマ○袴ハカマ日ヒ子コ 袴ハカマをヲひヒてテはハとト



衣類

○25











清りてき多く地下の志武家の女ふりきこの形  
又小神をおうらうそをわいとりとつ

〇カサ後カサ袷カサ小袖のカサ行カサ衫カサ〇カサ家カサ

〇カサ大カサ帷カサ カサ〇カサかカサさカサらカサうカサるカサ衣カサもカサをカサまカサるカサハカサ下カサ仕カサ

上カサ着カサのカサまカサらカサくカサ下カサ仕カサとカサアカサハカサ得カサ起カサ選カサあカサらカサうカサとカサまカサ

西カサ官カサはカサまカサ衫カサハカサ房カサ名カサきカサおカサくカサ花カサ カサ喜カサ女カサのカサまカサおカサらカサうカサ

〇カサ相カサハカサ襦カサ之カサ和カサ名カサ阿カサ古カサ女カサ岐カサ沼カサかカサさカサのカサ下カサまカサ着カサ

〇カサ相カサ一カサ祝カサ吉カサ子カサ女カサ カサ〇カサ相カサ丈カサらカサまカサ カサ四カサ角カサ用カサらカサるカサ

〇カサ檜カサ練カサ カサ装カサ束カサ抄カサるカサとカサハカサマカサツカサ衣カサ之カサをカサのカサまカサすカサれ

〇カサ押カサ出カサ カサウカサチカサタカサシカサ カサ女カサ無カサ カサ暁カサらカサるカサ日カサ傘カサのカサ下カサまカサをカサまカサ

〇カサ押カサ出カサ カサウカサチカサタカサシカサ カサ女カサ房カサのカサ衣カサのカサつカサまカサをカサまカサ

〇カサ押カサ出カサ カサウカサチカサタカサシカサ カサ女カサ房カサのカサ衣カサのカサつカサまカサをカサまカサ

〇カサ押カサ出カサ カサウカサチカサタカサシカサ カサ女カサ房カサのカサ衣カサのカサつカサまカサをカサまカサ

〇カサ房カサ居カサ カサ女カサのカサ房カサくカサへカサ行カサけカサひカサ一カサハカサつカサ不

〇カサ房カサ居カサ カサ女カサのカサ房カサくカサへカサ行カサけカサひカサ一カサハカサつカサ不

〇カサ房カサ居カサ カサ女カサのカサ房カサくカサへカサ行カサけカサひカサ一カサハカサつカサ不



○たふささそく

河市 せまは厚きぬき  
たひ女えつやさうそくといふ

孟 衣をつちめ

○香方の夜 儂衣

衣をよたきもの  
すう時 依れぬようけり

○儂ざし 女舞人の衣

○子子

巫の舞衣と汁女の着るハセニ人  
斗し 大和錦 依ハ布

○掛帯

岷 拍まうてるし 乙女のかりき  
巫女の着る 淫 ちあうら帯 けり

○柵すりの衣

又柵すりともはあのかまりの  
衣を けり 衣をまてん

着しうらねハ行ふを 柵すり 衣をまてん

衣は似らるれハ人よあつを 柵すりの衣といふ

○か 小袖

いさハ男女の衣を けり

ぬいハ男女異きハ 天衣のけハ袖 けり

○袴 襖

お衣のろおし けり いろいろの山の  
もみちるハあをうけり 思ひえき

○けだい

けり けり けり

○ハふの細布 〇身の代衣

オを けり

一衣又新の時 柵すり 衣をまてん







天物とてハ たつとらハ 葉 あ 丸つと一

あや枝 メソメ ○目深 カ 麻の子 アカヒモ のひころのこ

○目 あけめ 目 あけめ ○糸 あけめ 糸 あけめ

○糸 あけめ 糸 あけめ ○糸 あけめ 糸 あけめ

○糸 あけめ 糸 あけめ ○糸 あけめ 糸 あけめ

○糸 あけめ 糸 あけめ ○糸 あけめ 糸 あけめ

○糸 あけめ 糸 あけめ ○糸 あけめ 糸 あけめ

○糸 あけめ 糸 あけめ ○糸 あけめ 糸 あけめ

○糸 あけめ 糸 あけめ ○糸 あけめ 糸 あけめ

○糸 あけめ 糸 あけめ ○糸 あけめ 糸 あけめ

○糸 あけめ 糸 あけめ ○糸 あけめ 糸 あけめ

○糸 あけめ 糸 あけめ ○糸 あけめ 糸 あけめ

○糸 あけめ 糸 あけめ ○糸 あけめ 糸 あけめ

○糸 あけめ 糸 あけめ ○糸 あけめ 糸 あけめ

○糸 あけめ 糸 あけめ ○糸 あけめ 糸 あけめ

○糸 あけめ 糸 あけめ ○糸 あけめ 糸 あけめ

○糸 あけめ 糸 あけめ ○糸 あけめ 糸 あけめ

○糸 あけめ 糸 あけめ ○糸 あけめ 糸 あけめ

○糸 あけめ 糸 あけめ ○糸 あけめ 糸 あけめ

○糸 あけめ 糸 あけめ ○糸 あけめ 糸 あけめ

○糸 あけめ 糸 あけめ ○糸 あけめ 糸 あけめ

○糸 あけめ 糸 あけめ ○糸 あけめ 糸 あけめ



沖あふおく草をあらうしつゝあつをさかさまとおひよ  
くの志ある名あふかちちううのえうしつゝあつをさか

○丹子の草。名古を草。縹<sup>カ</sup>草<sup>カ</sup>。

○又月の草。腰の草。いしえいしんの時の草。いし

○たまき。女のよき。いしえいしんの時の草。いし

○玉の織。泡の上よかき。いしえいしんの時の草。いし

○袴のひき。たのひき。いしえいしんの時の草。いし

○手<sup>タ</sup>後<sup>カ</sup>ら。割。押<sup>カ</sup>。いしえいしんの時の草。いし

はよむういさをとるき人い小袖をいさふたをきとつあお  
まうらとあり又かうのせよたうらうら。秘するくとあ  
る葉るね女のたまき又玉たまきいさうのたまきやうの  
物ともいふたまきいさうのたまきいさうのたまきいさう  
襦袢、むらきえり。よろこび。いさうのたまきいさうの  
あつをさか。いしえいしんの時の草。いしえいしんの時の  
草。いしえいしんの時の草。いしえいしんの時の草。いし  
○帽<sup>カウ</sup>子<sup>シ</sup>。いしえいしんの時の草。いしえいしんの時の  
たれつゝあつをさか。いしえいしんの時の草。いしえいし  
の女のかよ。いしえいしんの時の草。いしえいしんの時の  
そ乃巾。○湯<sup>ユ</sup>卷<sup>キ</sup>。今木。今支。  
はえいしん。いしえいしんの時の草。いしえいしんの時の



いりしり女房の老の衣うくのよまユカタヒラ。○**明衣** 上は白  
おひひるすすの白き衣のるま

○ふこの。御布キヤフ。あとも女のふんこ

いづくゆりどとよハ ○**襪**ミタウツ ちろりーまにまきむの  
今本よりゆりどとよ

あともカタミつるまカタミ ○**はふ足袋** 古一婦女の  
あともカタミつるまカタミ

○**記念五**。形見。信伊 衣類を相敷  
あともカタミつるまカタミ

送用

○**鏡** 立 一 合せ 一 丸 一  
古 一 臺 一

小 八寸 一 ひめ 一 唐 一 一 一 一  
一のる 一 一 一 一 一 一 一

おの 一 物 一 一 やり 一 一 一 一  
一のる 一 一 一 一 一 一 一

○**まよ屯** 一 一 十寸 一 一 一 一  
一のる 一 一 一 一 一 一 一

まよ屯 一 一 一 一 一 一 一  
一のる 一 一 一 一 一 一 一



十後とあるを十寸のまきよけと云ふ

○**絶鏡** ヒセ 依るくまよひも付る不を也

○**ひの鏡** スカタミ ちかさる

○**松山鏡** ヒツ 鏡をくまよひ人たぬく

○**ひの鏡** カニサシ 鏡以竹爲算貫髪是釵之始也

○**釵** ヒツ 鏡以竹爲算貫髪是釵之始也

○**釵** ヒツ 鏡以竹爲算貫髪是釵之始也

○**榛の** 竹の 礼記竹箭筭終喪三年

○**髪** 耳搔 かくがぬ 釵

○**代** 簪 玳瑁 龜甲 象牙

○**櫛** 髮 楊の 髪 櫛 櫛

○**お** 髪 櫛 櫛 櫛

○**あやめの** 櫛 櫛 櫛

○**櫛** 櫛 櫛 櫛



○授<sup>ナケ</sup>搦 いむるし ○伊須<sup>イ</sup>の<sup>ス</sup> いすの本ハ長

木を船木 ○篋<sup>スキクシ</sup> の歯を引 ○玉搦<sup>玉</sup> 搦<sup>玉</sup> 搦<sup>玉</sup>

うらまはぐの念 ○玉搦<sup>玉</sup> 簪<sup>玉</sup> ○玉匣<sup>玉</sup> ○篋<sup>玉</sup>

○か<sup>ウキ</sup>け<sup>ユキ</sup>の<sup>コ</sup> ウキユキ ○巾箱<sup>ウキユキ</sup> ウキユキ

○爪搦<sup>ツマミ</sup> 五莖の枝 ○五莖<sup>五</sup>の<sup>枝</sup> 人の時

よきよきて退く目よあぐる ○竹<sup>タケ</sup>の<sup>コ</sup> のえ

○友<sup>カミナテ</sup>搦<sup>ユウ</sup> のえ

○枕<sup>まくら</sup> のちり 本 飯

○香<sup>かぐす</sup> 比目の 袖 のう

○の<sup>の</sup> 枕 香 枕 の 香

○目<sup>め</sup>を<sup>め</sup> あつとを ちり 洗 もる

○古<sup>ふる</sup>き<sup>ふる</sup> 枕 の 香 枕 の 香

○古<sup>ふる</sup>き<sup>ふる</sup> 枕 の 香 枕 の 香

○古<sup>ふる</sup>き<sup>ふる</sup> 枕 の 香 枕 の 香

○古<sup>ふる</sup>き<sup>ふる</sup> 枕 の 香 枕 の 香

○古<sup>ふる</sup>き<sup>ふる</sup> 枕 の 香 枕 の 香

○古<sup>ふる</sup>き<sup>ふる</sup> 枕 の 香 枕 の 香



○<sup>モトユヒ</sup>髪の初一 むけひつるんも除きしと よこきはふの巻しけすハ原

○<sup>トニホ</sup>繪元結の おえ結ともふ地盤合子 ね作をゆくとおのぬ

○<sup>トニホ</sup>中一 色の子 引裂 小引さきともふ

○<sup>オシロイ</sup>髪の 和 月沙門親成始て 目持統天皇六年五 髪結 を 元結

○<sup>オシロイ</sup>髪の 和 月沙門親成始て 目持統天皇六年五 髪結 を 元結

○<sup>オシロイ</sup>髪の 和 月沙門親成始て 目持統天皇六年五 髪結 を 元結

○<sup>オシロイ</sup>髪の 和 月沙門親成始て 目持統天皇六年五 髪結 を 元結

○<sup>オシロイ</sup>きハおろろい上の 髪 結 を 元結

○<sup>オシロイ</sup>美人立 これにて 髪 結 を 元結

○<sup>オシロイ</sup>横押 これにて 髪 結 を 元結

○<sup>オシロイ</sup>あま走 これにて 髪 結 を 元結

○<sup>オシロイ</sup>不んろり これにて 髪 結 を 元結

○<sup>オシロイ</sup>黒はづり これにて 髪 結 を 元結

○<sup>オシロイ</sup>黒はづり これにて 髪 結 を 元結



○<sup>キハ</sup>漆ハス○<sup>スミ</sup>すまきハ○<sup>コ</sup>小嵐コノ○<sup>カ</sup>花カ

油を人をもこまのあつとをわ

○<sup>ホ</sup>燕脂ホハニ○<sup>ホ</sup>的ホハニ○<sup>口</sup>口へホ○<sup>マ</sup>マホ○<sup>ツ</sup>ツホ○<sup>マ</sup>マホ○<sup>ツ</sup>ツホ○<sup>マ</sup>マホ○<sup>ツ</sup>ツホ

○<sup>ツ</sup>ツホ○<sup>マ</sup>マホ○<sup>ツ</sup>ツホ○<sup>マ</sup>マホ○<sup>ツ</sup>ツホ○<sup>マ</sup>マホ○<sup>ツ</sup>ツホ○<sup>マ</sup>マホ

○<sup>白</sup>白ホ○<sup>ヒ</sup>ひんホ○<sup>ク</sup>くホ○<sup>コ</sup>こホ○<sup>ク</sup>くホ○<sup>コ</sup>こホ○<sup>ク</sup>くホ○<sup>コ</sup>こホ

○<sup>茶</sup>茶の油遵云觀坐主花白有七萼花聚

○<sup>陳</sup>陳アツラ○<sup>生</sup>生ワタ○<sup>阿</sup>阿ホ○<sup>布</sup>布ホ○<sup>良</sup>良ホ○<sup>和</sup>和ホ○<sup>太</sup>太ホ

○<sup>油</sup>油アツラ○<sup>綿</sup>綿ワタ○<sup>脂</sup>脂ホ○<sup>絲</sup>絲ホ○<sup>村</sup>村ホ○<sup>上</sup>上ホ○<sup>天</sup>天ホ○<sup>皇</sup>皇ホ○<sup>の</sup>のホ○<sup>内</sup>内ホ○<sup>時</sup>時ホ○<sup>粧</sup>粧ホ

付眉つらうをくろめつらう油をひくし用する

○<sup>袂</sup>袂ホ○<sup>染</sup>染ホ○<sup>澆</sup>澆ホ○<sup>つ</sup>つホ○<sup>け</sup>けホ○<sup>の</sup>のホ○<sup>し</sup>しホ○<sup>う</sup>うホ○<sup>の</sup>のホ○<sup>む</sup>むホ

○<sup>ふ</sup>ふホ○<sup>の</sup>のホ○<sup>粉</sup>粉ホ○<sup>ふ</sup>ふホ○<sup>の</sup>のホ○<sup>角</sup>角ホ○<sup>た</sup>たホ○<sup>の</sup>のホ○<sup>ひ</sup>ひホ

○<sup>棉</sup>棉ホ○<sup>匝</sup>匝ホ○<sup>羊</sup>羊ホ○<sup>挿</sup>挿ホ○<sup>汲</sup>汲ホ○<sup>多</sup>多ホ○<sup>の</sup>のホ○<sup>杖</sup>杖ホ○<sup>笈</sup>笈ホ

○<sup>汗</sup>汗ホ○<sup>笈</sup>笈ホ○<sup>揚</sup>揚ホ○<sup>杖</sup>杖ホ○<sup>笈</sup>笈ホ

○<sup>糸</sup>糸ホ○<sup>第</sup>第ホ○<sup>眉</sup>眉ホ○<sup>代</sup>代ホ○<sup>第</sup>第ホ○<sup>不</sup>不ホ○<sup>足</sup>足ホ○<sup>棧</sup>棧ホ○<sup>塗</sup>塗ホ○<sup>桶</sup>桶ホ



○待合

函のハ月十日

○身合

天徳四年永兼日兼曆二年兼合

草合

○貝合

貝桶

○弁貝

接

○羽合

羽合

○弁合

羽合

○虫え

○か

○茂

コモリ

○双六

双六ハ女性の歌也原中川も

○篇

偏続ハ人とつとも女性の性

へんをふてつらうをかりへんを以て何とふも

いひあらる也

○韵塞

古より作あり詩の名字一字つらう

○文字

長音の体やその終のまどを

めもつく余初之の原氏のもくれてやききい

きえー相つちよをもえーあはれ

ろくへんやまふたのまらば

削とらめ

ろくろくろく

○彈タギ基キ

五雜俎今関中婦人女子尚有彈







香

六十四

○**紫文藤**

ふり平調あまをかりつとよめる  
白文女ハをくひくつと後  
ハハ女甲をさるる白文の文ハハあハ晋の王侯  
大后とておよ蓮を植てを中一時のあ

○**薬玉**

江の牙  
女の手の取るる花  
○**玉**  
女の手取る花

○**香**

十種香  
系家  
五香  
小く  
香合  
原平  
名不  
いひ  
藤鞠  
原氏  
三夕  
美越  
位吉  
百和  
開行  
競了  
反魂

○**芙蓉**

たき畑の  
四季  
慈の  
人  
名  
松

○**心字香**

心字の抄をくすまを中  
えい  
く  
えい  
く  
えい  
く

○**衣箱香**

えい  
く  
えい  
く  
えい  
く

○**香囊**

二ホヒツクロ  
悱  
白の玉  
空鏡  
ハ衣  
よこめ  
何とく  
物  
南

香

六十四



○ニ花ハ班ハ 去ニ花ハ 〇カ花ハ 〇ラ花ハ 〇コ花ハ 〇タ花ハ 〇タ花ハ

たきもの | 〇カ花ハ | 〇ラ花ハ | 〇コ花ハ | 〇タ花ハ | 〇タ花ハ

〇カ花ハ | 〇ラ花ハ | 〇コ花ハ | 〇タ花ハ | 〇タ花ハ | 〇タ花ハ

〇カ花ハ | 〇ラ花ハ | 〇コ花ハ | 〇タ花ハ | 〇タ花ハ | 〇タ花ハ

〇カ花ハ | 〇ラ花ハ | 〇コ花ハ | 〇タ花ハ | 〇タ花ハ | 〇タ花ハ

〇カ花ハ | 〇ラ花ハ | 〇コ花ハ | 〇タ花ハ | 〇タ花ハ | 〇タ花ハ

〇カ花ハ | 〇ラ花ハ | 〇コ花ハ | 〇タ花ハ | 〇タ花ハ | 〇タ花ハ

まろり | 〇カ花ハ | 〇ラ花ハ | 〇コ花ハ | 〇タ花ハ | 〇タ花ハ | 〇タ花ハ

舟 | 〇カ花ハ | 〇ラ花ハ | 〇コ花ハ | 〇タ花ハ | 〇タ花ハ | 〇タ花ハ

を | 〇カ花ハ | 〇ラ花ハ | 〇コ花ハ | 〇タ花ハ | 〇タ花ハ | 〇タ花ハ

東大寺 | 〇カ花ハ | 〇ラ花ハ | 〇コ花ハ | 〇タ花ハ | 〇タ花ハ | 〇タ花ハ

八重垣 | 〇カ花ハ | 〇ラ花ハ | 〇コ花ハ | 〇タ花ハ | 〇タ花ハ | 〇タ花ハ

山陰 | 〇カ花ハ | 〇ラ花ハ | 〇コ花ハ | 〇タ花ハ | 〇タ花ハ | 〇タ花ハ



新加屋

不二の燈  
新加  
新加屋  
新加屋

新加屋

右木

八搭

月良

寸代

あや

摺年

新加

二葉

松根

志二七

松介

新加

新加屋

川

新加

菜子

新加

子梅

新加

七夕

新加

明

新加

伍森

新加

新加屋

魚橋

夕の白

新加

日新

維子

新加

新加

雪月花集

沖楽

新加

新加

林下

新加

新加

人

新加

新加

笛

新加

新加

二葉

新加

新加

総角

新加

新加

斜月

新加

新加

お七

新加

新加



えくろ  
らけ  
孔  
中

なま  
以  
久  
小

重  
あ  
中  
新

あ  
あ  
う

十種香

紅  
子

紫  
古

道  
中

三  
法

日  
之

有  
ち

夕  
新

夕  
あ

大  
急  
目

八  
と

八  
と

中  
男

初  
採

法  
あ

七  
夕

大  
男

田  
基

あ  
あ

八  
重

人  
あ

寸  
代

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ







芳村 枯の卷 志了流 和葉 重木 露花 疎花 杜若 深山 鶴首 山 尾上 人々 星合

竹葉

風葉 晚花 培路 六月 重中 茂沙 秋草 初喜 百根 葵 麻 丹 杉川

吐月

庭さ 漏月 亮木 重抄 重隆 岩松 重水 長安月 節 重草 送 晴 柳

小重

子苗 林 奇葉 柳花 子 柳 何 堀 深 紅 夕月 花林

冬 和

和 聖 暎 海 花 友 一 花 冬 春 紅 夕 林 夕

秋 双

稿 山 埋 多 文 曉 水 猶 林 仙 朝 乙 常

古 代

万 法 本 風 為 斜 喜 映 秋 送 新 字

友 古

友 古 林 村 秋 喜 小 畧 又 於 又 翠 玉 子



















くがー 女女堂 法うき ことむいこき  
そののちあるよ 伊勢編ー ぶせあきー  
たそわく

○ せよよそむらる。日傘。かさのうら

○ 花笠 虫松 袖 びー びー  
あー ぎぬー つか ころけのー  
おむいー 志うきー やれー ずー

○ 車 糸毛車 磯系 内親王内令路 更衣 上の車く  
れ合ー ーやとー めーとー るこや傘  
イトケ

○ 毛ー 上日。 翠 大臣 若老 女師 更衣  
さくしと車と 函てくるまのせんど 一 ぞ井も

○ 檳榔毛ー ひんらーのあそ 他所ー  
ひんらーの 依又ひんらーの糸

○ 佃代ー 女車 眠 女の糸  
車とるの 副ー 女車と眠 信の女房の車と  
時ハ男也 ひとたすいトモ

○ 人 出車 日 上花き 公あよりそん  
ヒトタモヒ 出車 日 上花き 公あよりそん  
まのうらふよひとたまを云

○ 車 煙 車 日 上花き 公あよりそん  
車 煙 車 日 上花き 公あよりそん  
まのうらふよひとたまを云

○ 車 煙 車 日 上花き 公あよりそん  
車 煙 車 日 上花き 公あよりそん  
まのうらふよひとたまを云

○ 車 煙 車 日 上花き 公あよりそん  
車 煙 車 日 上花き 公あよりそん  
まのうらふよひとたまを云

○ 車 煙 車 日 上花き 公あよりそん  
車 煙 車 日 上花き 公あよりそん  
まのうらふよひとたまを云

○ 車 煙 車 日 上花き 公あよりそん  
車 煙 車 日 上花き 公あよりそん  
まのうらふよひとたまを云

○ 車 煙 車 日 上花き 公あよりそん  
車 煙 車 日 上花き 公あよりそん  
まのうらふよひとたまを云

○ 車 煙 車 日 上花き 公あよりそん  
車 煙 車 日 上花き 公あよりそん  
まのうらふよひとたまを云

○ 車 煙 車 日 上花き 公あよりそん  
車 煙 車 日 上花き 公あよりそん  
まのうらふよひとたまを云

○ 車 煙 車 日 上花き 公あよりそん  
車 煙 車 日 上花き 公あよりそん  
まのうらふよひとたまを云















買色

○傾城ケイセイ。傾玉ケイコク

漢書李延年哥北方有佳人絶世而獨立一顧

傾人城再。顧傾人国

○笑情

○托思。托女

○傀俚。扱發

楊氏云晝遊行謂之遊女待夜而發其淫

奔謂之夜發ふ。扱ふ。遊ふ。夜ふ。發ふ。其ふ。淫ふ。川竹

○さき川竹。るがまきの身るがまきの女の

○一扱書。志のひ書。たひ書女。さぶ

るこ。飯の笑。うき森。ふ定て通ふ

ううれつま。あそびあそび女。一一。一一

○あまの子。はま定めぬ。たなえるる

○过思。立思。立思。立思

の肉はかえ思ハ今のよこをなす。一。立思。一方のる  
ハえりあまさをし立思のふ条あまの月ひとく  
は思おく山もおひのやかひつまこつらうせきつ  
まとの月をて。うせきうハちあらう







○何つ不子。身を賣入。走らる。○セイ

○麻豆カコヒ。米うも。花車。仲飛ハネ

○抗擣ミツ。破瓜。上頭。封帛間タイコ。牽頭ヒキカビ

○飛子トビコ。弁比丘尾ヒキウビ。えは後海の地を懸望

○志シ。お察サツ。びくよの功懸へツクサケ

○地獄ジゴク。象別ゾウベツ。一休イツク。お高オカ。字ジ。下ゲ。をを。とと。てて

○ちチ。とと。つつ。いい。よよ。ろろ。ろろ。まま。いい。○おお。高高。字字。下下。をを。とと。てて

○身ミ。脱籍ダツセキ。てて。きき。んん

○全盛ゼンセイ。都知トチ。轉婆テリヤ。すす。きき。りり

○及中キチウ。おお。八ハチ。文字モンジ。○物日モノヒ。役日ヤクヒ。紋日モンヒ

○約束ヤクソク。大臣ダイシン。たた。まま。とと。つつ。まま。○家打ケウチ。花ハナ。雪ユキ

○おお。托タク。伏フク。知チ。りり。○まま。とと。つつ。まま。○ああ。のの。まま。をを

○返ヘ。見ミ。之シ。立タテ。○音ネ。立タテ。○舌ゼツ。つつ。るる。○鈴スズ。返ヘ

○曉トキヨミ。軍イクサ。○初ハジメ。會カヒ。○訓クニ。深フカ。○くく。きき。世セ。狂キヤウ



一ノ二ノ三ノ四ノ五ノ六ノ七ノ八ノ九ノ十

一ノ二ノ三ノ四ノ五ノ六ノ七ノ八ノ九ノ十

○おげん。男ま。ぞめき

驍發カマ

らまのそめき

○舟こりき

つもの主人の供を奉

○糸の糸

いよか糸を引るを

○玄

ケン傍の糸

の後の糸の糸

とふ糸の糸

○着

○也

ハシ糸の

入糸の糸

○廻

○男

○牛

キウ糸の

今糸の糸

○す

○が

カキ糸の

ゆ糸の糸

○限

○の

○を

○教

○さ。り。る。年。大臣。大。ちる。是。孫

○難

ツキ糸の糸

ハシ糸の糸

○乾

○念

○者

○望

○山

○糸

○妓

○老

○陰

ハシ糸の糸

○子

カキ糸の糸

○想

○家

○よ

○廓

○花

○街

○色

○花

○女

○所

ハシ糸の糸

○花

カキ糸の糸

お糸の糸

○亡

○八

ハシ糸の糸

○願

○所

一ノ二ノ三ノ四ノ五ノ六ノ七ノ八ノ九ノ十

一ノ二ノ三ノ四ノ五ノ六ノ七ノ八ノ九ノ十











卷之四

八十四

大	三	丸	乳	末	神	冬
後	香	山	子	过	禱	川
<small>三州</small>	<small>香平</small>	<small>山長</small>	<small>子モリ</small>	<small>过良</small>	<small>神カニ</small>	<small>冬ヤ</small>
小	熱	赤	柳	室	玉	高
後	回	石	所		造	原
<small>日</small>	<small>回尾</small>	<small>石下</small>	<small>柳落</small>	<small>室リ</small>	<small>造日</small>	<small>原ミツイ</small>
表	蟹	新	家	尾	墨	橋
流	流	浮	積	尾	漆	本
<small>川加</small>	<small>流ノ</small>	<small>浮コチ</small>	<small>積日</small>	<small>尾セヒ</small>	<small>漆山</small>	<small>本山</small>
化	古	古	博	鞆	勢	江
新	市	泊	多		聖	口
坂	<small>セイ</small>	<small>日</small>	<small>日</small>	<small>鞆ハリ</small>	<small>勢リ</small>	<small>江津</small>

立	持
戒	本
<small>立テ</small>	<small>持カ</small>
<small>戒カ</small>	<small>本所</small>
<small>立カ</small>	<small>持所</small>
紀	見
乾	詭
来	敏
<small>乾イ</small>	<small>詭タヒ</small>
<small>来タ</small>	<small>敏ヤカ</small>
<small>来タ</small>	<small>敏ヤカ</small>
丸	虎
采	嵐
屋	
町	
大	
<small>丸カ</small>	<small>虎コ</small>
<small>采カ</small>	<small>嵐ソ</small>
<small>屋カ</small>	<small>嵐ソ</small>
<small>町カ</small>	<small>嵐ソ</small>
<small>大カ</small>	<small>嵐ソ</small>

大に介いふて丸へはれと田

卷之四

八十四







や女の扱なりともちよかまのり貞ん信固たり一男

○玉津嶋の神 紀州和歌浦允恭天皇の

事にて我世この神よりよみ以上又水の神とヤ

○葛城の神 大和 みるくき白 鳴るはしき

言はし 一言主 久米海の神 才たや

○阿波神社 宮下徳の 小葉さす 小葉さす

今ささししししきさやつらさきあまの神よお葉さす

○老徳帯の神 兼務し 云後の神よ

○筑上系をい 糸四月形女の男持る扱

つらとひるつまの糸とせえんれるまんのるの扱えん

○卯辰の神 越中 尻打の糸 卯辰の杖

糸四月形女の男とてと神と神もて打つ

○かくみの糸 老徳帯は神よるけ又

よ打えんてきよあ合めり どのとて

○あきみさきの神 男女の神をさま

○針女社系 針女社をてあし

○神萱原の糸 伊勢屋上山老の糸

正月八日十二月八日友なを日







○**巫** ハカ **野** ノ。かゝるの雲。約束の夜 楚

王神女を乞へちきりをするをりふりし時神女を  
いとくあゝこよい重とらうり夕よはるころる 田舎

○**庚申待** いひあひせり。七座 後神女を付座

○**結ふの神**。月下老人 紅糸をたてま  
婦の縁を結ぶ

○**後帝の地系** 系 後帝ハ神后皇后田共玉也  
いさしの時をいひ吉例とそ

○**大和系** 大嘗年今よりあゆみ昔吉地とて天人  
の系しをうつとそ

○**務河系** 宇治の傍とて天人の  
系しをうつとそ。东 アツミアソヒ 托 上

○**大原神子** 山城大原の神子  
伝る巫女。○**信濃巫** ミコ

○**長谷寺** 大和 泊瀬寺 長瀬 小長瀬 五  
神 山 一 一 一

○**大もりく** かくらく ちこせり  
うくれく

○**大あせき** くつんを人の  
在示のさる

○**妻帯寺**。○**釵の山** 小中形山。○**血の池**

○**衣裳競** 競の女をけしひおまうてするを  
いふ。古志水神

○**三井寺** 七月十六日 女人奉侍  
たいまし



○高雄法花令

二月十日女人

○星之宮系

兼川の津本よあここまてのゆきとくひねる女の  
もあきうろんとするものこの人めもえりてるとさうらの王  
生ね言よあここまあつこれののおもけりるし

○七夕

五羅姐よりく徳新法は武下姫て妻  
言をあけ付ね志よ系根の根後を記  
殿時記よえよよきのおく列者の志もなふあ人の  
用へきるよあひのゆけ和漢古くいひ付て万葉を  
お集もあきこころふ人女子の傳て口書とする  
よとくとあれい家よのそつら信て七夕をたるはくと  
よあるより女七夕男七夕といひひうともああれり  
女ハハタ たるはハ織女の一志よて七夕をたるは  
織女 とよむふ万葉よはるし

カ一年迹七夕耳相人之○季年織女

ヒトハセニナ又カノヨノミヲフヒトリ

ヒコホシトタハタツイト

○桐様之五百機

皆くくあ

天の川	握の系	現あふ	加ききのほ
羽の糸	袖つく	さそふぬ	くわふ
いそま	袖の衣	まじつぬ	つまむふ
星合	とわつま	くらえ	乞巧真







密<sup>サヤキ</sup> 渡<sup>コヒ</sup> 栲<sup>コヒ</sup> 徳<sup>ヲ</sup> 滝<sup>タ</sup> 栲<sup>ム</sup> 房<sup>ム</sup> 栲<sup>ム</sup> 山<sup>ス</sup> 形<sup>カタ</sup> 栲<sup>ム</sup>  
 作<sup>サキ</sup> 徳<sup>ツキ</sup> 栲<sup>サト</sup> くらむべきこの栲<sup>栲</sup> くらむし  
 の栲<sup>山</sup> ありそこの栲<sup>大</sup> いそそこの栲<sup>セイ</sup>  
 くらむぬの栲<sup>山</sup> 思<sup>ム</sup> の栲<sup>ツム</sup> 誰<sup>タレ</sup> もある  
 表<sup>アハレ</sup> 山<sup>ツツ</sup> かい 立<sup>タ</sup> ちの栲<sup>山</sup> 恋<sup>コイ</sup> の栲<sup>ム</sup>  
 志<sup>シ</sup> のひの思<sup>シ</sup> 凡<sup>ツム</sup> 恋<sup>コイ</sup> 思<sup>ム</sup> 懐<sup>ツム</sup> の栲<sup>ム</sup>  
 下<sup>シ</sup> 廻<sup>マ</sup> の栲<sup>ム</sup> るこそその栲<sup>ム</sup> 遠<sup>ツム</sup> 切<sup>ツム</sup> の栲<sup>ム</sup>

見るめの栲<sup>ム</sup> とへたての栲<sup>ム</sup> 園<sup>エン</sup> 司<sup>シ</sup> 栲<sup>ム</sup>  
 長<sup>チヨウ</sup> 門<sup>モン</sup> 人<sup>ニヒト</sup> 書<sup>シ</sup> の栲<sup>ム</sup> 信<sup>シ</sup> 書<sup>シ</sup> の栲<sup>ム</sup> 穴<sup>アナ</sup> 夏<sup>ナツ</sup> 栲<sup>ム</sup>  
 里<sup>リ</sup> 丹<sup>ニ</sup> あこー 理<sup>リ</sup> 山<sup>サン</sup> 自<sup>ジ</sup> 栲<sup>ム</sup> 大<sup>ダイ</sup> 暮<sup>モ</sup> 理<sup>リ</sup> 栲<sup>ム</sup>  
 婦<sup>メノ</sup> 眉<sup>ヒ</sup> 理<sup>リ</sup> 中<sup>ナカ</sup> 越<sup>セ</sup> 飯<sup>イ</sup> 森<sup>シ</sup> の栲<sup>ム</sup> 辺<sup>ヘ</sup> 山<sup>サン</sup> 又<sup>マタ</sup> 深<sup>シ</sup> の  
 碎<sup>クサ</sup> 大<sup>ダイ</sup> 見<sup>ミ</sup> 赤<sup>セキ</sup> の栲<sup>ム</sup> 相<sup>サウ</sup> 心<sup>シン</sup> 又<sup>マタ</sup> の栲<sup>ム</sup> 後<sup>ゴ</sup> を  
 我<sup>ワ</sup> 牙<sup>ガ</sup> の栲<sup>ム</sup> 拵<sup>セ</sup> まつゝ 浮<sup>ウ</sup> 二<sup>ニ</sup> 見<sup>ミ</sup> 浦<sup>ウラ</sup> せ  
 又<sup>マタ</sup> ぬめの栲<sup>ム</sup> ちぬの栲<sup>ム</sup> 名<sup>ナ</sup> 立<sup>タ</sup> 浦<sup>ウラ</sup> 拵<sup>セ</sup>



屏風浦を手結浦あり結浦紀

形又浦紀河漕浦セイあいつの浦尾

ああせの浦を恋の濱が妹う浦紀

志のひ浦キ別浦出床浦尾姫浦尾

榜風流浦ユヒ二見の乃ハカミ傾城塚榜

と処女塚大日男塚女塚山小町塚日

多羽の恋塚日盛遠妻佐理の

舟榜上望むし田男女あり父母よをせのして

いひて海女たの榜れえるや 古恋浦かの志の

ありせささうしと田あり 近ありむさ

○宝の八下望浦中の上望の八下望のりうもねまるる恋しすま

○聖中の濱あり 揚テるまを理ふる昔ハめる

ろうめれとまつる志ハあつて春らると 徳因

舟枕聖中の濱ありハえの妻をつととつり



○虎うる五月廿八日。○虎うる。○皇まゑあま

○三山大 畝ウチヒ火山男神耳成山男神香山女神カク

と妻あゝそひちくく。可カくもくく。播ハ六風去ヒにヨ

く。神代もくく妻あゝそひちくく。今イマの世ハむヒ

○内ウチ友トモ坊ボウ 内ウチ竹タケ下ノのあアくクまマ。○女メ鼓ツ上ノ局ノ

○射タイの家ヤ。○二の町。○妻ツ家ヤ つまツマをヲ送ツるル

○織オリ友トモ。○継ツグ友トモ。○他家タヤ ふ人月フニツキのそソくク

○長ナガ押オシ 赫ツ張テのノあアくクまマ。○長ナガ押オシ 赫ツ張テのノあアくクまマ

○井イ者モノ。○元ハツ男ヲ流ル 紀キのノ身ミのノ浦ウラよヨをヲ

○外ウチ考カウ考カウ 外ウチ考カウ考カウ 外ウチ考カウ考カウ 外ウチ考カウ考カウ

外ウチ考カウ考カウ 外ウチ考カウ考カウ 外ウチ考カウ考カウ 外ウチ考カウ考カウ

外ウチ考カウ考カウ 外ウチ考カウ考カウ 外ウチ考カウ考カウ 外ウチ考カウ考カウ

○のノ叙シヨ又マタ 考カウ考カウ 考カウ考カウ 考カウ考カウ 考カウ考カウ

考カウ考カウ 考カウ考カウ 考カウ考カウ 考カウ考カウ 考カウ考カウ

考カウ考カウ 考カウ考カウ 考カウ考カウ 考カウ考カウ 考カウ考カウ

考カウ考カウ 考カウ考カウ 考カウ考カウ 考カウ考カウ 考カウ考カウ







あ。○**箱** 頁 習 多

あつるをいふれふせをのそくすい人を意徳

まといさきまーいりて後

○**箱** 焼 ツヤヤク このえろく

は奇よよとて 勢 勢 とつり

あつるをいふれふせをのそくすい人を意徳

○**火** 氣 の は 衣 ○ 燕 の 中 の 子 安 貝

○**遠** 菜 の 玉 の 枝

竹丸ひりけさーをいふる

あつるをいふれふせをのそくすい人を意徳

○**あ** こ べ の 松 ○ 石 代 の 法 松

むやんをるーねの松をむやんちうひせーるのうら

かたりらんーあつるをいふれふせをのそくすい人を意徳

○**天** 草

むやんをるーねの松をむやんちうひせーるのうら

北 生 裁 萱 艸 能 忘 憂

あつるをいふれふせをのそくすい人を意徳







○夏見竹上。○柳さする あつちをく

ツキウガ  
○月竹。○鴨ハ。○冬草 皆一類なり

アムム。○のけぬき。○あく。○ハ今。○並

つム。○梅。○女竹

川オモカ。○俊竹。○いえ。○ぬ色。○昔。○山ハ。○男女

○思竹。○あつ。○ひ草。○かこ

くさ。○通。○人の上。○も

○まさ。○ひ草 葉とおひ

○依の竹 袖を いその

○あ。○ハ。○あ

○あ。○あ

○あ。○あ

○あ。○あ

○あ。○あ



せつとつとと今よりねいあめやうまふまふまふ  
 をりりあまへーとつとてまふまのつとつとつとつとつと  
 けふより山生あつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 けふより山生あつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 昔生あつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 ○**名** **た** **原** 牡丹とむしある女は花をま  
 けて多くまきておまけり  
 けふより山生あつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 けふより山生あつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 昔生あつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 ○**教** **州** つらに別くよまふれとまはら  
 けふより山生あつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 けふより山生あつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 昔生あつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと

けふより山生あつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 けふより山生あつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 昔生あつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 ○**定** **家** **う** **づ** **絡** **石** **石** **籠** **石** **綾** **流** **流**  
 けふより山生あつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 けふより山生あつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 昔生あつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 ○**七** **美** **の** **南** **天** 婦人鏡の下は打交ハ  
 けふより山生あつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 けふより山生あつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 昔生あつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 ○**草** **の** **夕** 海をなす。夜に流るる草  
 けふより山生あつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 けふより山生あつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 昔生あつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
 つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと



いりり 五あるそのあひまらりりあつてけの

○なよ竹。なよ竹 女竹とては竹と云  
たうやうやう女の姿を

るやうやう竹はたとひけのせらる川竹と云ふも是る

○まのこ竹 皇女英の夕白の竹

○末摘花 皇女の  
花の婿 桃之夫

○さよ竹の袖 さよ竹の袖のむすをえのぬ

さつさつあつたうさよのさよの人の袖のさよ

○海棠 皇女の  
花の婿 桃之夫

るさよのさよのさよのさよの人の袖のさよ

○塚の柏 皇女死るハ昔むすつさよつさよと  
のちさりのくらや果多人史記晋文公

○ひめはしめ 曆自山折支は夜良王日記飯と  
食すり娘と子又おる娘とて

さのり娘と子又女の衣ぬひるさよと子後  
あふ説今俗は夫婦交接のるをさよとて

後より好む娘れのんをさよとてさよとてさよとて

ハむねさよやうさよと合さくさよとてさよとて

つさよのさよのたりむねさよとてさよとて

○かゆ杖 西月十の杖のまは花龜を画て女の  
胸を打ハ子さよとてさよとて

○月見の祝 二月十の又十の女子さよ  
袖の人そてさよとてさよとて

さよとてさよとてさよとてさよとて







了からかゝりたまはるる海く  
吹きよちうあまのふりぬき  
栞たてしむくのおれんり  
わづらはし海向の情心是  
うらみおしおるる心

雪中卷完末

返 *Shinetsu no Ma*

意の詞らに急ぐしのしすひを  
ねまうつとくを垣乃由とはハ  
さしやちにはさの神よこまれ  
みよこのけけなまし神つ代も  
ねまらぬ神のこまら  
た乃すまらこれおんこまら  
かえし人もがさるるれと



人志代りたる。此のまのけい  
 うりとはやすむらりし其れ  
 こねて紀記あまふよあけ代りの  
 撰は宗小のせやふ孫も母のそく  
 らずりし七代もたのこころ  
 と物々傳達あふくあも  
 らまよりの武は海りてさうい  
 つぬらあやうらまのあめ

心山つみとほくそ山のま  
 たり谷れかげらのまりし  
 ことよむまう人山あつた  
 さかた人乃みらひまきあ  
 ちのまは律度と後れあ  
 権のまらこ乃まらあ  
 こころにまらあか  
 志らうまら



うこれむしとあまよととさうは  
 けりまのうらみとあまよととさうは  
 いしきもあまよとあまよととさうは  
 道くまよとあまよととさうは  
 人せりあまよととさうは

文化十三年丙子

雪庵

江戸本石町十軒店萬笈堂英大助藏版俳書目録

○類題之部

- 俳諧發句五百題 春秋庵白雄房撰 小木一冊
- 同 新五百題 田喜庵護物撰 中本一冊
- 同 新々五百題 全撰 全二冊
- 同 名所千題集 全撰 全三冊
- 同 今人東風流 洞海舎涼谷撰 一具庵一具撰 全二冊
- 同 十方向集 全撰 全四冊
- 同 故人五百題 松露庵撰 小木二冊
- 同 續故人五百題 一具庵一具撰 全二冊







嵐雪句集 一秘玄峰集

全二冊

其角句集 坎窩久成集

全二冊

蓼太句集

全六冊

吏登句集

全一冊

巢兆句集

全一冊

完來發句集

全二冊

梅翁宗因發句集

全二冊

太無發句集

全一冊

存義發句集

全一冊

獅子賦發句集

全一冊

柳居發句集

全一冊

棋枰瓶 甲斐州丸集

全一冊

葛里句集 遠句白集

全一冊

護物七部集

全二冊

乙二七部集

全二冊

饒舌錄 元木綱大人著

全一冊

三吟未來記

全一冊

俳諧寐忘々々 春秋庵白雄著

全三冊

今七部集 冬至庵康年撰

全二冊

今人附合集 永木園校輯

全四冊



芳草集 同

芦の心ゆゑり 田喜庵輯

○季寄之部

戀の棗 葎雪庵北元著

俳諧手挑灯 一名俳諧初心手

同 掌中小本

俳諧袖鏡

季寄便覽

のこひる

俳諧通言

全二冊

全一冊

小木三冊

中本二冊

全一冊

寸珍一冊

一枚撮

横本一冊

小木一冊

○文之部

新編俳諧文集 あつちきあのふ

俳諧變躰一覽

袖定規 表俳諧定坐變体之因

七歌集その外古哲俳諧の變化のありしを考へて其の源をたゞしむるに

俳諧礎

○掌中寸珍物 俳諧寸珍物

掌中五百題初編

同 二編

両面一枚撮

全一冊

一折

集州初編

集州二編



同 三編 集州三編

同 芭蕉發句集 集州四編

同 其角發句集初編 集州五編

同 二編 集州六編

同 三編 集州七編

同 嵐雪發句集初編 集州八編

同 二編 集州九編

同 乙由發句集 集州十編

同 蓼太發句集初編 集州十一編

同 二編 集州十二編

同 新五百題初編 集州十三編

同 一編 集州十四編

同 三編 集州十五編

同 古今撰 集州十六編

猶追々出刊

俳諧一葉集 前編五冊 後編四冊

同 薄用摺 帙入全五冊

續今人五百題 涉壁為山輯 全二冊

掌中故人五百題 松露菴主人著 横本全一冊



芭蕉翁略傳 附錄附

近世俳諧十家類題集 過日庵祖鄉輯

同 名家類題集 同 著

續枯尾花集 小菘庵確嶺著

類題狡菘集雜之部 同輯

諸國名家集 笠栖素行輯 安房之部 諸國追々出版仕

古今五百題 寸珍本 全二冊

俳諧獨替古 全二冊

俳諧道の便 全二冊

俳諧戀の祭 全二冊

三都

發行

書林

京都三条通榭屋町 出雲寺文次郎

大坂心齋橋北久太郎町 喜兵衛

同 安堂寺町 屋太右衛門

同 博勞町 屋茂兵衛

江戸芝神明前 岡田屋嘉七

同 日本橋通二丁目 林新兵衛

同 同 山城屋佐兵衛

同 通壹町 屋茂兵衛

同 淺草茅町二丁目 伊八

同 本石町十軒店 大助藏板

同 下谷御成道 英藏



